

平成 30年 10月 26日

(あて先) 一宮市長

<申請者>

所在地 一宮市猿街道1-12-9

団体名 一宮中日スケートクラブ

代表者 職・氏名 代表 浅野 崇仁

一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 事業の名称	ショートトラック・スピードスケート講習会		
2 事業の分野 <small>(主たる分野を一つ選択し、○で囲んでください。)</small>	保健・医療・福祉 観光の振興 環境の保全 人権・平和 子どもの健全育成 経済活動 NPO支援	社会教育 農山漁村・中山間地域振興 災害救援 国際協力 情報化社会 職業能力・雇用機会 その他( )	まちづくり 文化・芸術・スポーツ 地域安全 男女共同参画 科学技術 消費者の保護
3 支援金交付申請額	472,266円		

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	708,400円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	708,400円
当該事業によって得られる収入 (c)	90,000円
支援金交付申請額※ 上限:「(b)×2/3」または「(a)-(c)」のいずれか高くない方	472,266円

※ 1円未満切捨て

4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書 (様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書 (様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書 (様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの



備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	一宮中日スケートクラブ		
市内事務所の所在地	〒491-0838 一宮市猿街道 1 - 1 2 - 9		
代表者 職・氏名	代表 浅野 崇仁		
設 立 年 月	2 0 0 5 年	1 0 月	構成員の人数 2 8 人
U R L	http://		
連 絡 先	(担当者氏名) 鈴木 絹子		
※この申請に関する 問合せに対応できる方	電 話	090-3159-1248	F A X
	E-mail	kinumail521@gmail.com	
団 体 の 目 的	ショートトラック並びにスピードスケートの普及振興を図り、 青少年の心身の健全な発展とスポーツ文化の振興に寄与することを 目的とする。		
主 な 事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショートトラックの普及と振興</li> <li>・一宮スケート大会の補助</li> <li>・ショートトラックに関する指導者と審判の育成</li> <li>・ジュニアは全日本ノービス&amp;ジュニアカップに参加</li> <li>・その他は全日本、世界大会に参加</li> </ul>		
主 な 活 動 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2010年バンクーバーオリンピック、2014年ソチオリンピック出場 (高御堂 雄三・トヨタ自動車)</li> <li>・2015年世界ジュニアショートトラック選手権大会3000mリレー3位 現ジュニア強化選手(平井 亜実)</li> <li>・その他選手も、多数全国大会出場</li> </ul>		
今 年 度 予 算 額	6 0 0 , 0 0 0 円	昨 年 度 決 算 額	4 9 9 , 7 9 1 円
条例第2条第3項 に掲げる要件につ いて	すべて満たしている ・ 一部または全部満たしていない		
市からの他の 補助金等の有無	有(補助金等の名称: ) ・ 無		

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

団体名	一宮中日スケートクラブ
事業の名称	ショートトラック・スピードスケート講習会
事業の内容	<p>(1) 実施期間（準備期間や後処理期間も含めてください） 平成31年 10月 1日 ～ 平成32年 3月 31日</p> <p>(2) 実施場所 一宮スケート場</p> <p>(3) 受益対象者 一宮市内の幼児、小学生、中学生、高校生</p> <p>(4) 実施体制 当会の会員である日本スケート連盟認定の指導者と登録選手等の講習による指導</p> <p>(5) 具体的な内容 一宮市スケート場に於いて 平成31年10月 平成31年12月 平成32年 2月 の日程で、講習会を実地する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ショートトラック専用シューズを使用し、基本的な滑走姿勢を学んでもらう。</li> <li>・レベル別に分かれて、レベルに合った講習をする。</li> <li>・登録選手のデモンストレーションを行い、目標としてもらうと共に講習の補助として選手と交流してもらう。</li> </ul>
事業のふりかえりとその生かし方	講習後、クラブで指導者、選手、保護者それぞれの目線で意見を出し合い次回講習に生かす。

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

<p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p>	<p><b>【目指す地域社会像】（目的）</b>  ショートトラック・スピードスケートがマイナー競技であるため、年齢が様々な選手と練習を共にできる事で、社会性、礼儀を養う事ができる。また、父母の協力の基で鍛錬する事により、親子の親密な関係を築くことができ、明るく元気な家庭環境を構築できると考える。小さなグループで社会性を養い、地域の中でも活躍できる人材育成にも貢献したい。</p> <p><b>【地域課題】</b>  一宮市にはスケート場があり、スケート教室が行われているにも関わらずショートトラック・スピードスケートや、スケート場自体の認知度も低いという課題を持っている。</p> <p><b>【事業の実施による効果】（目標）</b>  市内にリンクがある事で練習環境に恵まれていることもあり、オリンピック、世界大会に選手を輩出している実績もあるので、将来への夢が持ちやすく、続けてオリンピック選手を一宮市から輩出することも可能である。一宮市で行われているスピードスケート体験教室と違い、ショートトラック・スピードスケート専用靴を使用し、現役選手の滑りを間近で見、選手と交流してもらう事により、ショートトラック・スピードスケートへの理解と関心がより一層得られると考える。また、講習会の宣伝効果により、スケート場の認知度も上がり、多くの方に楽しんでもらえるスポーツとして、知っていただく機会にもなると思われる。</p>	
<p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<p><b>【受益者負担のみで事業を行えない理由】</b>  ショートトラック・スピードスケートがマイナー競技であり、知名度が低く、高額な費用負担を参加者に求める事は、多くの参加者を獲得する為の障害になると思われます。通常的一般滑走料程度の負担のみであれば、講習が受けられるというメリットを加味して、参加者の増大を促して、ショートトラック・スピードスケートの普及、啓発事業に貢献できると考えています。</p> <p><b>【公益で実施する理由】</b>  ショートトラック、スピードスケートへの理解が少なく、認知度が低いためクラブ員が少なく、普及、啓発事業にかなりの個人負担が強いられています。目的達成のためにも、スポーツ振興を図る活動として、公益性が高い事業であると考えため。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期（月）</p> <p>H31.9 H31.10 H31.11 H31.12 H32.1 H32.2</p>	<p>内 容</p> <p>第一回講習会参加者募集 第一回講習会 第二回講習会参加者募集 第二回講習会 第三回講習会参加者募集 第三回講習</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団 体 名 一宮中日スケートクラブ

事業の名称 ショートトラック・スピードスケート講習会

収入

科 目	金額（円）	内 訳
一宮市支援金	472,266	
事業収入	90,000	1,000円×30人×3回
自主財源	146,134	<input checked="" type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より <input type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他（ ）
計	708,400	

支出

科 目	金額（円）	左記のうち 支援金算出額（円）
報償費	168,000	168,000
旅費	0	0
印刷製本、消耗品費	25,000	25,000
食糧費	0	0
通信費、手数料	42,000	42,000
備品費	0	0
人件費	248,400	248,400
使用料、賃借料	225,000	225,000
その他	0	0
計	708,400	708,400

支出科目の内訳

科 目	金額 (円)	内 訳※1
	支援金算出額 (円)	
報償費	168,000	講師謝礼 8,000円×7人×3回
	168,000	
旅費	0	
	0	
印刷製本、 消耗品費	25,000	コピー代・印刷代 15,000円
	25,000	文具代・薬代 10,000円
食糧費	0	
	0	
通信費、 手数料	42,000	切手代 (案内状など) 27,000円
	42,000	スポーツ障害保険 5,000円×3回=15,000円
備品費※2	0	
	0	
人件費	248,400	運営 900円×4h×17人×3回=183,600円
	248,400	チラシ作成 900円×4h×6人×3回=64,800円
使用料、 賃借料	225,000	貸スケート場 15,000円×3回=45,000円
	225,000	個人シューズ賃貸料 3000円×20セット×3回=180,000円
その他		

※1 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを ( ) 書きで再掲してください。

例) スタッフ費用 @1,000円×5h×2人=10,000円 (@900円×5h×2人=9,000円)

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。